

イネ心枯線虫病の薬剤による省力防除法

上原等・都崎芳久

心枯線虫病の薬剤による省力防除法について,REE(サッセン)乳剤の効果と実用性,ダイシストン粒剤の苗代施用効果,低毒性殺虫粉剤の種子粉衣および苗代散布,ならびに低毒性殺虫液剤の種子消毒効果などについて検討したところ,つぎのような結果を得た。

1. REE(サッセン)乳剤は 500 倍液 24 時間消毒で十分有効であった。300 倍では発芽をやゝ害した。消毒後の種もみを 1 ヶ月間貯蔵しておくで、発芽勢がおちる傾向がみられた。
2. ダイシストン粒剤を 10a10Kg,播種直後の苗代に施用したところ,鉢試験では著効をみとめたが,ほ場の折ちゆう苗代では効果がみられなかった。施薬当時の多量の灌水や水の移動によって効果にフレがでやすいようであり,この点実用化するにはさらに検討を要するようである。
3. 播種直前に,予浸後の湿った種子に,その重量の 10%のスミチオン粉剤,バイジット粉剤を湿粉衣すると有効であり,実用化できる。播種直後に,10a10~20Kg のスミチオン,バイジット粉剤を散布しても有効であるが,種子粉衣にくらべると効果が劣った。
4. スミチオン,バイジット,ダイヤジノンの各乳剤およびパダン水溶剤の各 1000 倍液に 24 時間浸漬消毒すると有効であり,発芽にも悪影響はみられず,十分実用化できる。